

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

研究課題名:『巣状分節性糸球体硬化症移植後再発における抗 nephrin 抗体の関与』

研究機関名:東邦大学医療センター大森病院

研究責任者:腎センター

職位・氏名:講師・橋本淳也

【研究の目的】

巣状分節性糸球体硬化症により末期腎不全に至り、腎代替療法として腎移植を行なった場合、移植後に巣状分節性糸球体硬化症を再発することがあります。治療として血漿交換などが行われますが、この病気の発症気序についてはまだ良く分かっていないことが多く、現在も多くの研究が行われています。最近の研究では、患者さんの血液中の抗 nephrin 抗体という物質が、腎臓の組織に結合することが、巣状分節性糸球体硬化症の発症を誘発しているのではないかと報告されています。

そこで、東邦大学医療センター大森病院腎センターでは、東京女子医科大学腎臓小児科と協力して、巣状分節性糸球体硬化症移植後再発における抗 nephrin 抗体の関与について研究させていただくことになりました。この研究で得られる成果は、巣状分節性糸球体硬化症の移植後再発メカニズムを正しく評価し、治療に反映させることにつながります。

【研究対象および方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大森病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2009年1月～2023年6月までに東邦大学医療センター大森病院腎センターにおいて、腎移植を受けた巣状分節性糸球体硬化症の方

方法:診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

また、ご提供いただいた血液と移植腎生検の残余検体で、抗 nephrin 抗体を測定します。

【研究に用いられる試料・情報】

試料:血液と移植腎生検の残余検体の一部

情報:病歴、治療歴、副作用等の発生状況、個人情報 など

【外部への試料・情報の提供】

当科から研究代表施設である東京女子医科大学腎臓小児科提出された上記の資料・情報を、あなたの個人情報が分からないように管理します。

【研究組織】

代表施設名:東京女子医科大学 腎臓小児科 研究代表医師:服部 元史 役職:教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 腎センター

職位・氏名 講師・橋本淳也

電話 03-3762-4151 内線 6757